

医療ルネサンス

No.5783



股関節脱臼

4/5

項目チエツク診断早く



千葉県の松戸市立病院。火曜と水曜の整形外科外来には、市内の小児科などで行われる乳児健診で、先天性股関節脱臼が疑われた赤ちゃんが、品田良之さんの診察を受けに来る。

先天性股関節脱臼は、患者の激減で病気をよく知る医師も減り、健診で見つからずに診断が1歳以降まで遅れ、治療が難航する例が増えている。

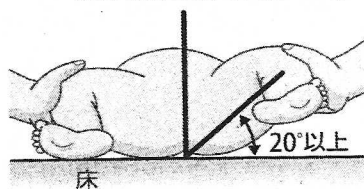
そうした中、同市は2003年から、脚の開き具合

健診で股関節脱臼の疑いが指摘され、品田さん(右)の超音波検査を受けるいみヒュリアちゃん

など、股関節脱臼を見つかる六つのチェック項目を乳児健診の受診票に盛り込んだ。各項目は点数化されており、健診を担当する小児科医がチェック。合計点が2点以上なら整形外科医に紹介し、エックス線と超音波で詳しく検査してもらおう仕組みで、早く異常を見つけるのが目的だ。「この方式が定着し、ここ2年間は、診断が遅れた子は出ていま

先天性股関節脱臼の心配がある赤ちゃんのチェックリスト

- ① 寝かせた状態で両脚をM字に開いた時、十分に開かない(膝が床から20°以上離れる)



- ② 太ももや股のしわが左右対称でない
- ③ 家族に股関節の悪い人がいる
- ④ 女の子
- ⑤ 逆子で生まれた

※①に当てはまるか、②～⑤の2項目以上に当てはまれば詳しい検査が勧められる

せん」と品田さん。今年2月下旬、診察を受けに来た伏原亜姫ちゃんは生後4か月の女兒。健診で両脚が開きにくいとわかり、2歳の姉も右股関節に脱臼のおそれがあるとして通院していることなどから、4点と判定された。詳しく検査した結果は、異常なし。「ほっとしました」。母親の江里子さん(39)は胸をなで下ろした。

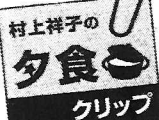
健診で2点だった3か月の女兒、堀田いみヒュリアちゃんは検査の結果、股関節の発育が悪く、脱臼しやすいとみられた。そこで、柔らかいバンドを胴と脚にかけ、両脚をM字に開いた姿勢を保つ「リーメンビユーゲル」という装置を使って治療することになった。

母親のひとみさん(28)は「もうすぐ夫の国のトルコに帰る。将来が心配なだけに早くわかってよかった」と話した。

同市のほか、長野県下諏訪町では、生後2、3か月の赤ちゃんを対象に超音波検査を実施し、異常が見られればエックス線検査で確定診断する取り組みを続けている。エックス線の被曝を最小限に抑えられるメリットがあるが、確実に行うには医師が超音波画像の判読に習熟する必要がある。

専門家が昨年秋、松戸方式を参考に、専門外の医師でも判断しやすい早期発見のチェックリスト「イラスト」を作った。日本小児整形外科学会は、全国の乳児健診で導入するよう呼びかけている。

医療・健康情報はインターネットサイト「ヨミドクター」(http://yomidr.jp)で



- 冷凍根菜ミックスと大豆の煮物 (166kcal・塩分1.0g/1人)

冷凍の野菜ミックスをうまく活用すると、夕食のおかずが簡単にでき、野菜くずも出ません。作りやすい分量で。

【材料4人分】大豆(乾燥)100g/冷凍根菜ミックス(レンコン、ゴボウなど)1袋(250g)/昆布(5cm角)1枚

【作り方】①大豆は洗ってボウルに入れ、熱

湯2カップを注ぎ、1時間ほどおいて戻す。皮のしわが伸びたら、ざるへ上げて水気を切る②昆布は1cm角に切る③根菜ミックスの袋の隅を1cm角の三角形に切ってから耐熱皿にのせ、電子レンジの解凍キーで5分ほど加熱する。根菜が軟らかくなったら1.5cm角に切る④鍋に①、②、③を入れ、水2カップ、薄口しょうゆ、みりん各大さじ2杯、砂糖同1杯を加えて火にかける。煮立ってきたらアクを取り除き、落とし蓋をして弱火で30分ほど、大豆が十分に軟らかくなるまで煮る。